

昨年度、林福連携による林業への就業を支援するために行ったアンケートで、福祉施設等の皆様から、様々な作業に挑戦してみたいという回答をいただきました。

そこで、今回はその中から「地拵え」についてご紹介します。

発行 令和4年11月24日
盛岡広域振興局林務部

「地拵え」作業について

伐採の終わった林には、伐採した木を丸太にするために切り落とした枝葉や、細くて丸太にならなかった幹（梢の部分）が残されています。

「地拵え（じごしらえ）」は、植林する前に、これらの枝葉等を集めて片付ける作業です。伐採してから時間が経っている場合は、雑草やかん木の刈り払いも行います。



伐採跡地に残された幹

地拵えの目的

- ① 植栽作業を容易にすること
地表面がきれいに片付いているので、植穴を掘る作業や、作業時の移動がスムーズです。
- ② 植栽作業を安全に行うこと
散乱した枝につまづいて転んだり、それが原因で転落したりするなどの危険を防ぎます。
- ③ 植栽した苗木が生育しやすい環境をつくること
雑草木を取り除くことによって、苗木に光が十分に当たります。

地拵えの種類

植栽する範囲内の全ての雑草木を取り除く「全刈り地拵え」、植栽する列のみ取り除く「筋刈り地拵え」、植栽する周囲のみ取り除く「坪刈り地拵え」が一般的です。

地拵え作業の進め方

最も一般的で、雑草木の再生抑制効果が高い「全刈り地拵え」の進め方を紹介します。

- ① 集めて積んだ枝葉や幹が移動しないよう、安定させるため、等高線に沿って一定間隔に、現場にある枝や幹でつくった杭を打つ
- ② 長い枝や幹は短く切ったり、二又のものは一本にしたりしながら、杭の上部の斜面にある枝葉や幹を、杭の上に横一列になるように集めて積んでいく
- ③ 植栽が可能な面積を広くとるようにしながら、①と②を繰り返す

機械による地拵えも増えてきましたが、人力による作業が大半です。



人力による地拵え



地拵え後の状況



機械による地拵え

第73回 **全国植樹祭** いわて 2023
緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から



「全国植樹祭」開催に向けた取組について①



岩手県で2回目の開催となる「第73回全国植樹祭」が、令和5（2023）年6月4日（日）に陸前高田市の高田松原津波復興祈念公園で開催されます。

森林や緑の大切さに加え、東日本大震災津波被災地への復興支援に対する感謝や復興の姿を発信するため、式典行事や植栽行事、記念イベントなど様々な取組を企画しています。

今回は、苗木のスクールステイについてご紹介します。

苗木のスクールステイとは？

第73回全国植樹祭で使用する苗木を、県内の緑の少年団や小中学校の皆様に育てていただく取組で、令和3～4年度の2年間行われました。

この取組を通して、森林の役割や森林づくりの大切さを子どもたちに普及啓発するとともに、全国植樹祭の開催に向けた機運を盛り上げていきます。

苗木のスクールステイの流れ

- ① 苗木の配布：県内の参加団体・学校に苗木を配布します。
- ② 苗木の育成：参加団体・学校の子どもたちに苗木を育成していただきます。
- ③ 苗木の回収：育てていただいた苗木を回収します。
- ④ 全国植樹祭での使用：全国植樹祭等で苗木を植樹します。

盛岡広域振興局管内の実施団体・

【令和3年度】

葛巻地区森林愛護少年団（葛巻町）
江刈小学校緑の少年団（葛巻町）
岩手町子抱山緑の少年団（岩手町）
丹藤川自然愛護少年団（岩手町）
西の杜緑の少年団（紫波町）

【令和4年度】

盛岡中央高等学校附属中学校（盛岡市）
盛岡市立仙北小学校（盛岡市）
盛岡市立緑が丘小学校（盛岡市）
岩手中学校（盛岡市）
八幡平市立松尾中学校（八幡平市）
御明神地区緑の少年団（雫石町）
葛巻地区森林愛護少年団（葛巻町）
江刈小学校緑の少年団（葛巻町）
丹藤川自然愛護少年団（岩手町）

全国植樹祭で使用する苗木
ドウダンツツジ（令和3・4年度育成）
オオバクロモジ（令和4年度育成）



苗木の引き渡し



記念写真



苗木の育成（水やり）